



**小林正和とその時代**  
 —ファイバーアート、その向こうへ

と き／1月6日(土)～3月10日(日) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／京都市立近代美術館 (祝日以外の月曜と1/9、2/13休館)  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

1960年代以降、欧米において従来のテキスタイルの概念を超えるような作品群が数多く登場した。伝統的な技法を踏まえつつも、天然・合成繊維のみならず、金属や鉱物など様々な素材を取り込み、平面から立体へ、そして空間へと展開した作品群は、ファイバーアートと呼ばれ、その新たな潮流は、とりわけ1962年から95年までスイスのローザンヌで開催された国際タペストリー・ビエンナーレを中心に世界へと波及していった。



《Clear the Land》1978年  
 (京都市立近代美術館蔵)

日本におけるこの領域のパイオニアである小林正和 (1944-2004) は、京都市立美術大学 (現京都市立芸術大学) で漆工を学んだものの、川島織物在职時の「1本の糸との出会い」を起点に、糸を「垂らし」「張り」「緩め」集積させた立体造形作品を発表。第6回国際タペストリー・ビエンナーレでの入選を皮切りに、国際テキスタイル・トリエンナーレや国際テキスタイルコンペティション (京都) などでの活躍を通して、国際的に高く評価されるようになった。糸を含む「ファイバーは人間と密接に結びついている」と考える小林の作品は、常に空間と関係を切り結ぶことを志向し、最終的には戸外でのインスタレーションへと展開していった。2024年に生誕80年・没後20年をむかえる小林正和の初めての回顧展として開催される本展では、小林の代表作や関連資料約80点に、彼と歩みをともにした作家たちの作品を加えた約100点を紹介。1970年代から90年代にかけて京都に発したファイバーアートの動向を振り返り、そこでの小林の活動とその意義、さらには国際的な位置づけについて、そして今後のファイバーアートの展開について、改めて考える機会にしたいと考えている。



《KAZAOTO-87》1987年  
 (国立国際美術館蔵)

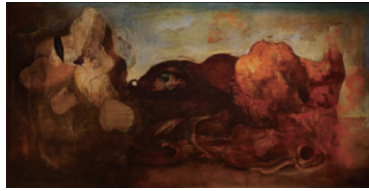
『シュルレアリスム宣言』100年  
 シュルレアリスムと日本

と き／12月16日(土)～2024年2月4日(日) 10:00AM～7:30PM  
 ところ／京都文化博物館 4階展示室 (祝日以外の月曜と12/28～1/3休館)  
 京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888



北脇昇《独活》1937年  
 東京国立近代美術館蔵

20世紀最大の芸術運動「シュルレアリスム」。フランスで誕生し各地の芸術、思想、文化に影響を及ぼした運動は、日本の芸術家をも魅了した。1920年代後半 (大正後期から昭和初期頃)、詩の分野から始まった日本のシュルレアリスムはやがて絵画の分野へと伝わります。古賀春江や東郷青児らが先駆的に試みたシュルレアリスムの絵画表現は、フランスで感化を受けた福沢一郎が本格的に日本に導入し、若い画家や画学生の間にもその影響が広がっていきます。しかしながら戦前から戦中へ、シュルレアリスムを巡る状況は次第に悪化。そうした困難な時代に描かれた絵画は、画家たちの切実な思いや思想がにじみ出たものへと変容し、戦後へと引き継がれていく。アンドレ・ブルトンの『シュルレアリスム宣言』の発表から100年を記念する本展では、京都の北脇昇、小牧源太郎を始め、主にシュルレアリスムの影響を受けた日本の絵画作品を通して、多様なイメージの展開を紹介すると同時に、彼らが生きた時代を振り返るものである。



鑑光《眼のある風景》1938年  
 東京国立近代美術館蔵

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																						
		(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)																						
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	シュルレアリスムと京都																												→2/18																									
	3F	日本考古学の鼻祖 藤貞幹 (とうていかん) 展														Kyoto Art for Tomorrow 2024 - 京都府新鋭選抜展 -														→2/4																									
	4F	異界へのまなざし あやかしと魔よけの世界														『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本														→2/4																									
	5F	年始休館																												→2/4																									
	6F	Space/Story/ Transportation 展														第36回京都美術文化賞受賞記念展														→2/4																									
別館	音楽会														京都府新鋭選抜展【特別展示】														→2/4																										
京都学・歴史彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	年始休館																												→2/10																										
歴史館所蔵 資料古典籍・ 資料展																												東寺百合文書で古文書を解説! 鎌倉・室町・戦国時代～中世文書、はじめの一步																											

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	㊤	火	水	木	金	土	㊤	㊤	火	水	木	金	土	㊤	月	火	水	木	金	土	㊤	月	火	水	木	金	土	㊤	月	火	水
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F 4F	年始休館	開館60周年記念 小林正和とその時代-ファイバーアート、その向こうへ																									→3/10					
			2023年度 第4回コレクション展																									→3/10					
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	年始休館		特集展示 弥生時代青銅の祀り																									→2/4					
			新春特集展示 辰づくし-干支を愛でる-																									→2/12					
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	コレクションルーム	年始休館	コレクションルーム (京都市美術館所蔵品展示) 冬期 特集「昭和前期の日本画と古典」																									→2/25					
	本館		第10回日展京都展																														
	東山キューブ		MUCA展 ICONS of Urban Art ~パンクシーからカウズまで~																														
	別館1F		第23回 京都芸術高等学校 卒業制作展										京都シニア大学 創立50周年記念展 (1/26休)																				
	別館2F												第69回警察美術展																				
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F 2F 3F	年始休館	第27回国画会 京滋奈作家展 (洋画)										第61回 京都銅版画協会展										Artists Group 第2回 現生展 (美工聯合会)					→2/4					
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	年始休館		企画展 若き日のロマン、大正時代の印象さん 同時開催 第4回京都工芸美術作家展																									→2/25					
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311																																	
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	店休日	高島屋×京都市立芸術大学 NEW VINTAGE展					鎌倉其中壺 河村喜史 作陶展					高波壮太郎展					「京都日本画新展」受賞者二人展					水野嘉之 中野嘉之					→2/5					
	アートサロン		春を彩る茶道具展					森里龍生 陶展					阿咩 山本二郎 茶陶展					五世 島田耕園 御所人形展					山本真美江 陶展					→2/5					
	グランドホール																																
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	店休日	桜井敬史展 ~箔と若絵の具の輝き~					~月と遊ぶ蛙たち~ Osanai Megumi展					人生の黄昏を楽しもう 田中善明 油彩画展					~ユーモラスでちょっとか風変りに描く~ 金丸悠児展					浦杉道一 本松道一 佐藤純子 油彩画展					→2/6					
	アートサロン		秀作絵画展					大野忠司・島山武弘 日本画二人展 ~ユメノカケラ~					110年の時を超えて オールドブリタケの世界展					Essence展					給藤純子					→2/6					
	ミュージアム																																
中信美術館 上京区下立売池小路東入 417-2323													第36回京都美術文化賞受賞記念展 (会場: 京都文化博物館 5F展示室) (月曜休館)																				
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277			冬期休館																														
泉屋博古館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411			改装中、休館																														
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
芦屋画廊 KYOTO 左京区 頭町357-8 754-8556		常設展																															
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	冬期休廊		ウィンドウ作品展-曾根茂-										常設展 (月曜休廊)										アート マルシェ										
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805																																	
アートスペース柚 (ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353			芸春 干支アール展「辰年」 (9日、15日休廊)																														
アートスポット櫻奏 東山区八坂通大和大路東入南入 090-3945-7492			常設展 (貸画廊受付中)																														
Art Space 癒心庵 長岡京市今里町24-8 951-2788													漆芸超絶技巧・雲龍庵と希龍舎展 開館日: 毎週火曜・金曜 (祝日は休館・完全予約制: 午前・午後各一組4名まで)															→2/27					
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787			冬期休廊										貸画廊受付中																				
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613			冬期休廊					木版画常設展 (貸画廊受付中)																									

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

## 第36回 「京都美術文化賞」受賞記念展

と き／1月19日(金)～1月28日(日) 10:00AM～6:00PM  
ところ／京都文化博物館5階展示室(月曜休館、最終日は～4:30PM)  
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

公益財団法人中信美術奨励基金の顕彰事業である「京都美術文化賞」受賞者による展覧会です。「京都美術文化賞」は、美術の創作活動を通じて京都府市民の精神文化向上に多大な貢献が認められた方に対して毎年贈呈される賞であり、1988年の第1回に始まり今年で36回目となります。

本展では、第36回京都美術文化賞を受賞された北山善夫氏(絵画・彫刻)、岸映子氏(陶芸)、西山美なコ氏(現代美術)の作品を展示し、広く皆様にご覧いただけます。

また、特別展示「京都美術文化賞のあゆみ」として、歴代京都美術文化賞受賞者(第13回～第15回受賞者9名)の作品を当財団のコレクションより公開します。

### 【受賞者略歴】



北山善夫氏(絵画・彫刻)

1948年滋賀県生まれ。'82年第40回ヴェネツィア・ビエンナーレ(日本館)、カーネギー国際ナショナル展、インド・トリエンナーレ等の国際展に多数参加。竹や和紙を用いた大規模な彫刻作品の他、建築プロジェクト、90年代半ばからは鳥の子和紙にインクを用いた平面作品も展開する。'92年愛知文化芸術センターに国内最大の屋内彫刻作品、'08年に上海のワールド・フィナンシャル・センタービル90階に15mの彫刻作品を設置し話題になった。



岸映子氏(陶芸)

1948年奈良県生まれ。多様な表現が可能な陶芸の魅力に惹かれ、土作りから始まる独自の技法「彩石象嵌」を確立。コンクールやマックナイトアーティストインレジデンス(2000年、米・ミネアポリス)を経て、独創的な幾何学形体の作品を生み出す。アメリカを中心に国内外の展覧会へ出品。ハーバード大学、中国清華大学芸術博物館他、海外での講演多数。国際陶芸アカデミー会員。



西山美なコ氏(現代美術) 撮影：杉原歩

1965年兵庫県生まれ。'91年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。90年代より日本の消費社会の表層にひそむ「カワイイ」や「ピンク」、「装飾」等をテーマに作品を制作。砂糖を使った王冠で時間の経過を観察する作品や、限りなく消え入るような壁画、光の反射を利用した知覚に関わる作品、シュガーペーストを用いたインスタレーションなどにも取り組む。ホスピタルアートにも多数参加。



北山善夫「生きること 死ぬること」  
2012年

©Yoshio Kitayama, courtesy of MEM



岸映子「心象を積む」  
2022年



西山美なコ「～melting dream～」  
(六甲ミーツ・アート2014)  
2014年



京都市立芸術大学移転記念事業

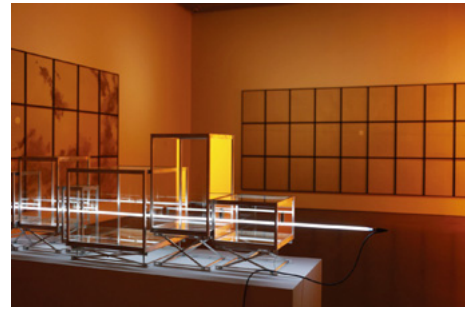
久門剛史「Dear Future Person,」

と き／12月16日(土)～2月18日(日) 11:00AM～7:00PM  
 ところ／京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA  
 (祝日以外の月曜日と1/9、2/13休館)  
 京都市下京区塩小路高倉東入 ☎075-585-2010

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAは、2010年より拠点としていた堀川御池を離れ、2023年10月にオープンした京都駅東側エリアの本学新キャンパス内に活動することになりました。新たな展示室での記念すべき最初の展覧会として、気鋭の美術家、久門剛史（1981年京都府生まれ、京都府在住、本学彫刻専攻出身）による個展を開催します。

久門は、自らの体験を通じて自然、地球、そして宇宙と人間との関係を考察し、それらに着想を得た音、光といった無形の事象と造形物で構成するインスタレーション作品を中心とした制作活動を続けてきました。非常に繊細でありながらもスケールの大きな事象を感じさせる豊かで巧みな表現によって、鑑賞者個々の身体感覚に訴えかけ、潜在的な意識への気づきをもたらす作品は国内外で非常に高く評価されています。

本展は、久門にとって出身地であり、活動拠点でもある京都での初個展となります。首都の喧騒から少し離れて、古くからの人間の活動の記憶をとどめる京都に身を置き、また日本最古の芸術大学である本学にて、独自の哲学をもって制作を続けるさまざまな表現者と出会い学んだことは、久門の感性をさらに研ぎ澄ませ、その表現に深みを与えてきたと言えるでしょう。緻密にプログラムされた空間と事象の構成の巧みさを強調されがちですが、他の追従を許さぬ造形力の高さ、制作過程においても一回性、唯一性を貫くその精神もまた、久門作品に並ならぬ緊張感を与える最も重要な要素の一つとなっているのです。本展では、新しい@KCUAの展示室に合わせて構成された、唯一無二の大規模なインスタレーションが展開されます。それはタイトルにあるように、思考と表現を深め、各々の瑞々しい感性で世界を捉えようとする活動の場である芸術大学を舞台に、久門が一人の表現者として「未来の人」へ向けた壮大なメッセージとも受け取れるかもしれません。その作品世界に対峙するとき、現代に生きる私たちのそれぞれの現在地、そして来るべき未来について、あらためて考えるきっかけがもたらされることでしょう。



ドバイでの展示風景

開廊40周年記念特別展

デュシャン・ケージ・ラオを中心に  
 —現代アートの縁起をたどる—

と き／1月16日(火)～1月27日(土) 12:00～6:00PM  
 ところ／ギャラリー白川(日・月休廊)  
 京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

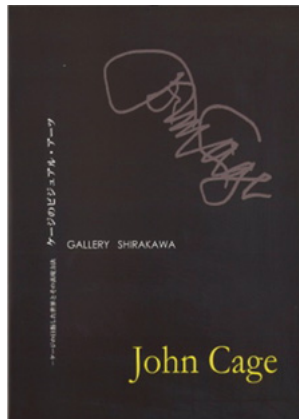
ギャラリー白川では、1933年の開廊以来、ジョン・ケージやソル・ルウィットら、欧米の巨匠作家を積極的に紹介、また日本人では舟越桂や松谷武判といった作家のほか、「ジャパニーズ・モダン 江戸から現代へ」シリーズなどのユニークな企画を催してきました。12月のシーズン・ラオ展に続いて、1月には、ラオと現代美術のシーンに決定的な影響を与え、晩年は73名の作家によるマルチプルシリーズ「S.M.S」の中心的な役割を果たしたマルセル・デュシャンや「チャンス・オペレーション」という、偶然性をたくみに取り込むジョン・ケージの作品を合わせて展示いたします。

偶発的な自然現象である雪や霧などが生み出す「虚実相生」の瞬間を撮影し、東洋美学の「間」や「余白」を見立てる平面シリーズを発表するシーズン・ラオとデュシャンやケージら現代美術の巨匠たちの作品はどこか響きあう部分を感じる。仏教用語には全ての現象が相互に関係し合っている「縁起」という言葉があるが、美術における「縁起」の大切さを感じてもらえたらと思う。

ギャラリー白川 池田真知子



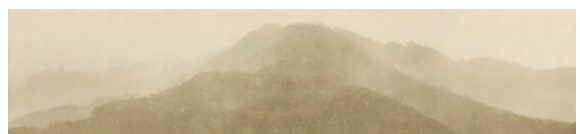
ジョン・ケージ THE MISSING STONE 1989年 138×107cm



ジョン・ケージの作品解説書  
 ギャラリー白川刊



マルセル・デュシャン S.M.S作品 1968年



シーズン・ラオ Mt. Kagami, saga, Japan  
 ミクストメディア 2023年 200×64cm

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
企	絵草子	浮世絵・木版画。新版画常設																															
企	延寿堂ギャラリーソフォラ	年始休廊	有永浩太 (ガラス) (木曜休廊)														展示替え 休廊	山口真人×澤克典 (陶) (木曜休廊)							→2/13								
企	御池画廊	冬期休廊						洋画・日本画常設展 (土日祝休廊)																									
企	ビニールテープ	(旧後素堂) 画廊名をビニールテープに変更して活動中																															
企	画廊たづ	冬期休廊	日本画常設展 (日祝休廊)																														
貸	ざおんギャラリー八坂	冬期休廊	革の小物・バック他展 新谷訓一 他1名										着物リメイク展 マイkimono 永井舞					着物展示会 京のきもの 嵯峨宗 住田宗明	→2/4														
貸	喜聞堂アートスペース余花庵	喜聞堂 屏風絵・古美術 常設展																															
貸	ギャラリーM	休廊	初春の京と船旅を描く展 (松本祐佳)																														
貸	ギャラリー花友じゅらくだい	遠藤剛照作品常設展 (貸画廊受付中)																															
貸	ギャラリー祇園小舎	福井泰三 新春作品 展										千尋庵 着物展					たにもの 日常 谷本聡子	服部潤 書画展	→2/4														
貸	ギャラリー吉象堂	貸ギャラリー予約受付中																															
貸	ギャラリーCreate洛	冬期休廊	創造する画家たち展 (洋画) (月曜休廊) 出品作家: 生駒泰充・斎藤博・進藤博子・高井道夫 多納三勢・野村久之・深沢軍治										斎藤高志展 (染色) (月曜休廊)										→2/4										
貸	ギャラリー恵風	1F	冬期休廊										新春企画展 上坂秀明展 (月曜休廊)					休廊	松本健宏 作品展					→2/4									
貸	ギャラリー胡々湾	2F	冬期休廊										新春企画展 福田季生展 (月曜休廊)																				
貸	ギャラリー胡々湾	貸ギャラリー受付中																															
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
貸	ギャラリー佐野	貸ギャラリー受付中																															
企	ギャラリー三条祇園																																
企	ギャラリー白川	冬期休廊										開廊40周年記念特別展 (日・月休廊) デュシャン・ケージ・ラオを中心に - 現代アートの縁起をたどる -																					
貸	ギャラリー翔	アートふくろう展 (絵画、陶器、他 会期中休み無し)										ヴィジヨネア展 (絵画、彫刻、他 月曜休廊)										春匂う! !	→2/11										
貸	ギャラリー16	冬期休廊										捜神譚 その1 神岡の章「発生器」 KOSUGI+ANDO (小杉美穂子・安藤泰彦) (インスタレーション) (月曜休廊)																					
貸	ギャラリーSpace妙	2024 〇覚 (しかく) 反応実験展 「ツルツル」																															
企	ギャラリー創	日本画・洋画・古書画常設展																															
企	ギャラリーTAJIRO	プライベート展示																															
企	ギャラリー鉄齋堂	常設展																															
貸	ギャラリー富小路	貸ギャラリー受付中																															
企	ギャラリーなかむら	第4回猛虎展 (月曜休廊)																															

### 【他所で見た展覧会】

- 「挑み、求め、美の極致-みほとけ・根来・茶の湯釜」展: 11月14日(火)~1月28日(日) 細見美術館 (京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
- 「セロからわかる江戸絵画」展: 10月18日(水)~1月8日(月) 福田美術館 (京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16 ☎075-863-0606)
- 「炭道具-美味しい一碗を」展: 1月7日(日)~3月31日(日) 茶道資料館 (京都市上京区堀川寺之内上 裏千家センター内 ☎075-431-6474)
- 「決定版・女性画家たちの大阪」展: 12月23日(土)~2月25日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「生誕120年・安井仲治-僕の大切な写真」展: 12月16日(土)~2月12日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区臨海海岸1-1-1 ☎078-262-1011)
- 「藤田嗣治 心の旅路をたどる-手紙と手仕事を手がかりに」展: 12月16日(土)~2月25日(日) アサヒグループ大山崎山荘美術館 (京都府警乙訓郡大山崎町銭原5-3 ☎075-957-3123)
- 「第4回京都工芸作家展」: 12月9日(土)~2月25日(日) 京都府立堂本印象美術館 (京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007)
- 「ミュシャとパリの画塾」展~ようこそミュシャの教室へ: 12月2日(土)~3月31日(日) 堺アルフォンス・ミュシャ館 (堺市堺区田出井町1-2-200 ヘルマージュ堺式番館 ☎072-222-5533)
- 「石を焼く、土を焼く・樂雅田/樂直入」展: 1月2日(火)~1月29日(月) 美術館「えき」KYOTO (京都駅ビル、京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111)
- 「日本画ことばはじめ」展 (コレクションより): 1月13日(土)~2月18日(日) 西宮市大谷記念美術館 (西宮市中浜町4-38 ☎0798-33-0164)
- 「モネ、連作の情景」展: 2月10日(月)~5月6日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
会場		日曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427		白崎信子ガラス作品常設展 KIMIETO-日本画展- (創画会友4名のグループ展)																														
貸企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	年末年始休廊														第32回折々の作家たち展 ※1月15日(月)休廊										長谷治郎展 (独立美術協会準会員)				田中希和子展 (日本画)		→2/4
		2F															葛本 康彰 個展																→2/4
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710		冬期休廊														日本画常設展(月曜定休)																
貸企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	冬期休廊														Gen展(立体・平面)				"Beyond Fiber Art" 草間結雄・久保田繁雄・田中千世子 (月曜休廊)										Chang Ting (陶)		→2/4
		4F															京都芸術大学 進級制作展 (立体)																
		5F																															
貸企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710		貸ギャラリー受付中																														
企貸	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348		二人展 MIEKO・MINT 2...カンタの世界~インドの刺し子 クリ・ボテラ...タイツ(月曜休廊)																														
企貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		「坂本龍馬と酢屋」常設展																														
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110		冬期休廊														大道正男作品展(水曜休廊)										休廊		常設展				
企	ギャラリー宮脇 京京区寺町二条上ル 231-2321		冬期休廊														坂爪厚生メゾチント新作展 「不確定性の風景」(13:00~18:00月曜休)												→2/4				
企貸	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138		お正月のしつらえ展(お正月用の漆器、器など) (1/1~8無休・1/9振替休日・以降月曜休廊)														休廊		冬のクリアランス アンティーク西洋食器・ヴィンテージ含む 百音のストック品セール												→2/11		
貸企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸画廊受付中																														
企	京都芸大ギャラリーアーク 下京区堀小路高倉東入 253-1509		年始休館		京都市立芸術大学移転記念事業 久門剛史「Dear Future Person,」 月曜日(1月8日(月・祝)、2月12日(月・振替))は開館、翌火曜日(1月9日、2月13日)を休館																												→2/18
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000		常設展(水曜休館)																														
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町蓮仏光寺下ル 344-1305		年始休館		常設展(水曜休館)																												
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
会場		日曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
貸企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F [月]	冬期休館														清永安雄 写真展																→2/11
		2F [花]															オカダキサラ写真展 「FROM NEW WORD」				浅井文昭写真展 「My Colors」				家辺大輔写真展				加藤秀 写真展		→2/11		
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F [12 31 1月1日 休館]	三地区合同懇話会展I(仮) (東山北地区、東山南地区、京都府北地区) (木曜休館)														三地区合同懇話会展II (仮) (東山中地区、山科地区、 京都府南地区) (木曜休館)												→2/7				
貸企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902		年末年始休館		第18回 ゆう美術研究所 作品展																												
貸企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636		冬期休廊																														
貸企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423		閉廊																														
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232		閉廊																														
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388		冬期休廊														常設展(日・祝休廊)																
企	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210		常設展/美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武器全般																														
企	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510		冬期休廊		常設展(日・祝休廊)																												
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670		冬期休廊														明治・大正・昭和名作発掘品展(日・祝休廊) 特集陳列:玉村久斗「源氏絵」、不染鉄(日本画)、藤田龍児(洋画)																

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。  
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ(<http://www.kyoto-art.net/>)では、  
すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行: 京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>